

やまきたまち 議会 だより

議会のおと



そば屋の店主は大家族 石田さんご一家
(関連記事は裏表紙に)

P2~5…令和6年度の注目予算を審議

P11……体育施設建築にちょっと待った!
～初の附帯決議案を可決～

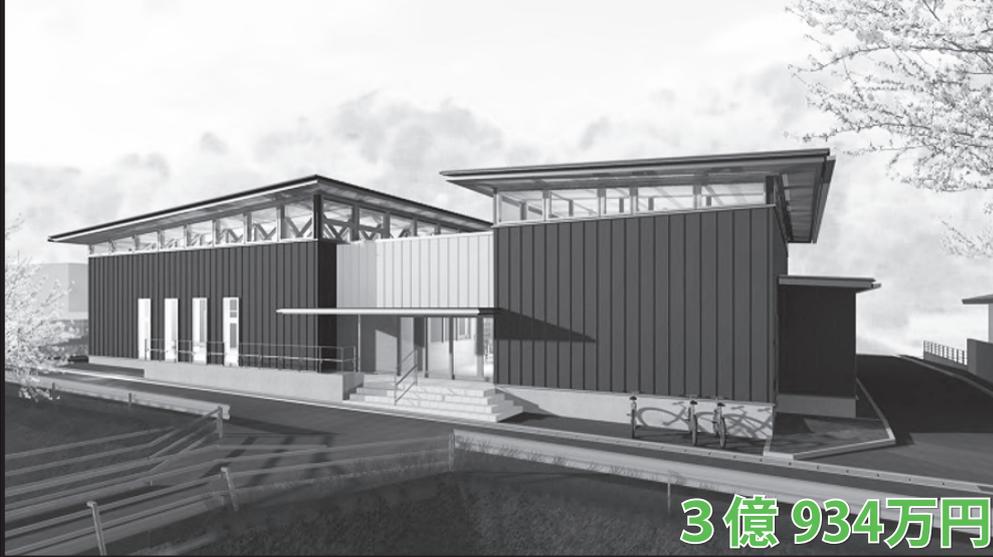
P17…「議会のおと」のご意見番!
広報モニターの生の声



議会ホームページは
こちらから

旧山北体育館代替体育施設建築工事

町産木材を利用した旧山北体育館代替体育施設の建築



3億934万円

予算特別委員会

過去最大規模の注目予算

令和6年度当初予算

93億7900万円

自治会活動活性化助成金

自治会の加入促進を目的に新たな助成金制度の運用



420万円

川村小学施設改良工事 設計等業務委託

令和7年度より予定している長寿命化改修工事に先立つ実施設計他



1,555万円

子ども・子育て支援 事業計画策定業務委託

令和6年度に現行計画見直し



400万円

防災備品の購入

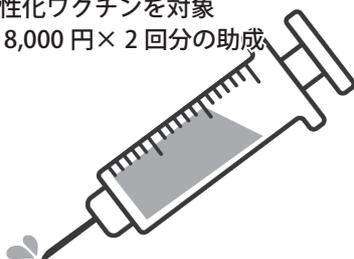
災害時に備え、連合自治会へ飲料用簡易水槽を配備



133万円

带状疱疹ワクチン 接種の一部助成

不活性化ワクチンを対象
1回8,000円×2回分の助成



160万円

環境基本計画改定

ゼロカーボン、再生可能エネルギーなど町の特色を活かした総合的な環境計画の策定



800万円

町産木材 95% 「山北モデル」を全国に!

《一般会計》

体育施設整備事業費について、物価高騰や社会情勢も不透明の中、この時期に多額な予算を計上し、施設建築を行う理由とその内容は。

生涯学習課長 コロナ前の基本計画時点では、総額1億5000万円程度で補助もあまり見込めず、大部分を町負担で実施する予定であった。

その後、物価や労務費の高騰などで3億円程度の費用となったものの、林野庁の補助金等を最大限活用し、町負担を軽減するよう取り組んできた。

また、町産木材95%を使用し、脱炭素に寄与した木造施設とすることで「県産木材の活用山北モデル」として、県内外へ県産木材の調達の仕組みを発信できる機会でもあるため、令和6年度に着工をしたい。

施設建築を急ぐより、町民理解を得ることが優先では。

副町長 第5次総合計画に係る町民アンケートでも体育施設建築の要望が多くあった。材料も調達し、ここで立ち止まると当分建築の機会はないのではと判断した。

引き続き町民説明を繰り返し、理解を得ていきたい。

調達した木材は体育施設ではなく、緊急性の高いものに使用するなど、再検討も必要では。

町長 代替体育施設については、これまで建設検討委員会での議論をもとに、武道などを行う施設だけでなく、地域の集会所や避難所、多くの町民が利用しやすい施設にすることで、議会にも説明してきた。

町民の希望を叶えたいとの思いで施設建築を進めていきたい。

川村小学校大規模改修

川村小学校施設改良
工事の内容は。

こども教育課長 令和6年度は、B棟の実施設設計、構造体劣化診断、アスベスト調査を行う。

令和7年度に、B棟の改修工事とA棟の実施設設計、令和8年度にA棟の改修工事を予定している。

川村小学校は福祉避難所としての機能も必要とされると思うが、今後、福祉エリアの整備をしていく考えは。

福祉課長 川村小学校など、一般避難所の中に福祉避難所の機能とエリアを設ける必要性を感じる。こども教育課長 避難所としてではなく、学校として、昇降口の改修や玄関スロープ設置など、バリアフリー対応などを進めていきたい。



「あしがらジビエ」の可能性

ジビエ肉販売普及助成金の内容と現在までの「あしがらジビエ工房」の稼働状況は。



農林課長 町内飲食店での利用促進のため、捕獲者に1件4千円を上限に助成する。

あくまでもジビエ肉の販路拡大が目的であり、無駄なく飲食店に提供できる仕組み作りの事業と考えている。

また、施設運営については、令和5年11月からの3か月間で10頭が搬入された。他町からの搬入も伸びてきており、各町でも販路拡大に向けた取り組みを進めている。

町税減収の影響は

法人町民税が前年より減収となっている理由は。

町民税務課長 原材料費の高騰などにより純利益が減少しているため、前年より減収見込みとなっている。

ゴルフ場利用税も前年より半額程度減収になっているが要因は。

財務課長 県の定めるゴルフ場の等級が変更になり、税収が一人800円から400円に減額となったため。



令和5年度総合防災訓練の一コマ

自治会応援助成金

自治会活動活性化応援助成金の内容は。

地域防災課長 これまで全ての連合自治会に交付していた助成金を、今回から手上げ方式とするもの。対象は、連合自治会及び自治会とし、自治会活動活性化や加入促進のための経費などを予定している。

防災無線対策費のIP無線機導入及び飲料用簡易水槽配備についての内容は。

地域防災課長 既存の無線機では電波が届かない地域があるため、携帯電話の電波を利用したIP無線機を試験的に導入する。また、飲料用簡易水槽は、向原地区の総合防災訓練で披露し、その他の連合自治会から要望を受け、各連合自治会に3個ずつ配備する。

町の新たな

環境計画は

環境基本計画改定業務委託の内容は。また、再生可能エネルギーの導入や町として「ゼロカーボンシティ宣言」などの予定は。

環境課長 環境基本計画が期間満了のため、令和6年度に改定作業を予定している。太陽光発電など、町の特色を活かした環境政策の総合的な計画になるよう考えている。ゼロカーボンシティ宣言は、パークゴルフ場に設置した水力発電完了に合わせて予定している。



パークゴルフ場に設置した水力発電設備

駅前商店街の活性化を

山北駅周辺魅力づくり推進事業は支援だけにどまらず、関係者を巻き込み駅前商店街の活性化へ向けた組織を立ち上げてはどうか。

商工観光課長 山北駅周辺の朝市支援を実施しているが、今後は商工会や周辺店舗関係者など意見交換を重ね、山北駅周辺の魅力を高められる対策を考えていきたい。



子育て支援の充実を

へき地児童生徒援助費として、三保小学校の統廃合時にスクールバス運行費用補助がある。利用範囲を限定することなく、山間部に住む子どものための新たなスクールバス運行が必要では。

こども教育課長 へき地児童生徒援助費は令和7年度で終了する。

山間地域等への遠距離通学・通園に関する補助については、今後検討していきたい。

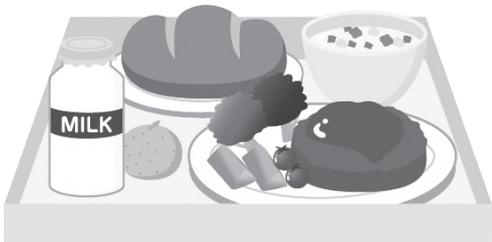
0歳から15歳までの一貫教育・保育を打ち出している当町であるからこそ、スピード感を持った対応が必要では。

副町長 関係機関との調整や、規則等もある。保護者の気持ちは理解しているので様々な問題をクリアしながら対応していきたい。

近隣自治体では給食費無償化の動きがある。物価高騰が進む中、子育て支援策として当町の考えは。

こども教育課長 今年度も前年当初と同じく、1100円を町が負担し、残額を徴収したい。

副町長 給食費無償化については、国への働きかけをしているが、充分な補助がない中、町の現状の財源では難しい。



歴史文化財を 活用したまちづくり

河村城址歴史公園整備の内容と、今後の予定は。

生涯学習課長 公園内、堀切にかかる土橋の壁面に、土層断面のタイル設置工事を行うもの。

令和6年度はタイル製作費として約925万円、令和7年度に設置費用として同程度の費用を考えている。県から2分の1の補助がある。

歴史文化財を活用したまちづくりを、この先どのように進めていくのか。

生涯学習課長 JR御殿場線ホームに案内板を設置し、2次元コードで誘導を図るなど、有識者などからの意見を参考に、町内の歴史文化財を活用する方策を考えていきたい。

「ふるさと納税」

返礼品増の取組み

商工観光課長 ポータルサイトには様々な返礼品が登録されている。

新たに中間事業者を選定し、民間の力によってこれまで20品目程度であった返礼品から、110品目以上の掲載を目指している。

返礼品が増えれば門戸が広がり、より多くの寄付が期待できる。

ふるさと応援寄付金のポータルサイトを増やしたことで、今後どのような影響が出るのか。

《特別会計》

国保財政安定に向けて

国保財政安定のために保険給付費を抑制する取組みは。

保険健康課長 多額の医療費がかかる人工透析まで至らないよう、糖尿病性腎症重症化予防事業の推進やフレイル予防事業など、積極的に取り組んでいく。

令和6年 第1回定例会

「第6次総合計画」スタートに向けて

令和6年4月から、いよいよ10年後の将来を見据えた町の最上位計画「第6次総合計画」が始まる。

第1回定例会では、総合計画の基本構想部分の議会審議を行い、全会一致で可決した。

総合計画策定までの道のり

総合計画策定に向け、どのようなプロセスで進めたのか。

企画総務課長 令和4・5

年度の2年間で、町長はじめ三役を中心とする庁内に設置した策定推進会議や外部委員等で構成する審議会で議論を重ねながら策定を進めてきた。

他にも、町民アンケートや町民ワークショップ、中学生ワークショップ、子ども議会や山北高校生からの提案など、多くの機会を通じて、10年後の町の将来像を描いてきた。

計画策定のためのワークショップだけでなく、こうした取り組みは今後定期的に開催してはどうか。

企画総務課長 ワーク

ショップは今回初めて実施した。年齢層も含め多種多様な声を伺うことができた。今後もうこうした取り組みができるように考えていきたい。



町の将来へ中学生の声を

総合計画の進捗や評価検証は議会だけでなく、町内外でチェックしていくことも必要では。

企画総務課長 審議会からも同様な答申をいただいている。

全ての事業の評価は現在5年に一度だけだが、今後、進捗管理や新たな評価検証方法について、検討していきたい。

山北駅前開発に

向けた取り組み

山北駅はここ数年で縮小の話もある。駅前商店街の活性化も含め、この先どう考えていくのか。

町長 山北駅は鉄道の町としても大事な駅であると考えている。

駅舎については、小山町の足柄駅のような地域コミュニティの場としても活用できるものや、併せて商店街の活性化についても町内外から知恵を出していただき、駅前開発を考えていきたい。



国保税の改定へ

Point!
 国保税の県内統一化に向け、現在県内自治体で山北町のみ賦課されている資産割を3年かけて廃止し、それに伴う所得割率等の改定が提案された。

資産割をなくし、3賦課方式にすることで、今後の国保財政はどうなっていくのか。

保険健康課長 現在、資産割で3千万程度の収入がある。
 令和8年度までの3年間で3分の1ずつ減額し、それを他の均等割・平等割・所得割で補っていくことになる。
 資産割の廃止が完了する令和9年度以降、県内統一に向けた改定を検討していきたい。

山北町の現状と今後の見込みは。

保険健康課長 町は国保財政に影響を及ぼす一人当たりの医療費水準が県内で最も高い。
 統一化とは、収入等が同じであれば県内どこに住んでいても医療費水準に関係なく同じ保険税が賦課されるということである。
 このため、現状であれば県に収める納付金が少なくなることが想定される。

町設置型浄化槽（高度処理型）

Point!
 丹沢湖の水質保全を目的に、湖より上流域の住民や事業者に対し、これまでの単独浄化槽から高度処理型の合併処理浄化槽へ入替えを推進する事業。
 県の水源環境保全税を財源に、新規設置や維持管理費用を国・県・町負担で行っていた。近年、新規設置の要望がほとんどないため、今回の条例改正で新規設置の文言を削除することが提案された。

上下水道課長 県に対しては引き続き要望を継続していく。
 新規設置事業を一度見直し、水質保全への事業検討も訴えていきたい。
 また、これまで協力していたいただいた地域住民には個人負担がないように町として維持管理は継続していく。



Point!
 丹沢湖の水質保全を目的に、湖より上流域の住民や事業者に対し、これまでの単独浄化槽から高度処理型の合併処理浄化槽へ入替えを推進する事業。
 県の水源環境保全税を財源に、新規設置や維持管理費用を国・県・町負担で行っていた。近年、新規設置の要望がほとんどないため、今回の条例改正で新規設置の文言を削除することが提案された。

新規設置終了へ

Point!
 新規設置をやめることで、自然環境への影響は。

上下水道課長 通常の合併浄化槽でも自然環境への影響は少ない。
 また、今後住宅建て替えて、単独浄化槽から合併浄化槽へ入替えが生じた場合は、通常の合併浄化槽の補助がある。
 現在、高度処理型などへの入替えは地域の8割が完了している。
 先を見てもこれからは新規設置より維持管理に努めていきたい。

《一般会計補正予算》

ふるさと応援寄付金が7億円から5億円に減額になった要因は。

商工観光課長 令和5年10月の国の制度改定により、全国的な駆け込み需要が起きた。町の返礼品が一番多いのは「おせち」だが、受付期間も短く前年の約3割程度しか注文がなかった。

<p>ふるさと納税のお申込みはこちら</p>	<p>ふるさとチョイス</p> <p>あなたの意思をふるさとに</p> <p>神奈川県山北町</p> <p>お礼の品一覧ページはこちら</p>
<p>楽天ふるさと納税</p> <p>手続きかんたん Rakuten</p>	<p>ふるさと納税ならふるなび</p> <p>詳しくはこちら</p>

議案等審議の結果

第1回 臨時会（1月24日）

件名	審議結果	件名	審議結果
手数料条例の一部を改正する条例の制定 ・地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正により、改正するもの	可決	動産の取得 ・スケートパークセクション買入れのための契約を締結するため、議会の議決に付すもの	可決
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 ・地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、改正するもの	可決	町固定資産評価員の選任 ・町固定資産評価員の選任をするもの 石田浩二氏	同意

第2回 臨時会（2月14日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和5年度一般会計補正予算（第9号） ・住民税均等割のみ課税世帯及び低所得子育て世帯に係る給付金支給に係る歳入歳出の増で、歳入歳出それぞれ3564万円を増額し、予算の総額を60億6484万円とする	可決		

第1回 定例会（3月4日～13日）

件名	審議結果	件名	審議結果
第6次総合計画基本構想の策定 ・自治基本条例第14条の規定により、第6次総合計画基本構想を制定するため提案するもの	可決	介護保険条例の一部を改正する条例の制定 ・介護保険法施行令の改正及び令和6年度から令和8年度までの介護保険料の改定に伴い、改正するもの	可決
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、改正するもの	可決	指定居宅介護支援及び基準該当居宅介護支援に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、改正するもの	可決	地域密着型サービスに関する条例の一部を改正する条例の制定 ・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・地方自治法の一部を改正する法律の施行及び令和5年の人事院勧告に基づく職員の給与改定に伴い、改正するもの	可決	地域密着型介護予防サービスに関する条例の一部を改正する条例の制定 ・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決
税条例の一部を改正する条例の制定 ・地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、改正するもの	可決	指定介護予防支援及び基準該当介護予防支援に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 ・厚生労働省令の一部改正により、放課後児童健全育成事業者に安全計画の策定が義務付けられたことに伴い、改正するもの	可決	町設置型浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・町設置型浄化槽事業の見直しに伴い、改正するもの	可決 (賛成多数)
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 ・厚生労働省令の一部改正により、小規模保育事業等の職員配置基準が引き上げられることに伴い、改正するもの	可決	水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・地方自治法の改正に伴い、改正するもの	可決
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 ・国民健康保険税の安定した財政運営を図り、改正するもの	可決	水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定 ・水道法の改正に伴い、改正するもの	可決

件名	審議結果	件名	審議結果
水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例 ・水道法改正に伴い、改正するもの	可決	令和6年度介護保険事業特別会計予算 ・予算の総額を12億5342万円とする	可決
令和5年度一般会計補正予算(第10号) ・歳入の主なもの、町税及びふるさと応援寄附金の見込みによる減額等で、歳出の主なもの、各事業費の執行見込みによる減額で、歳入歳出それぞれ1億7703万円を減額し、予算の総額を58億8781万円とする	可決	令和6年度商品券特別会計予算 ・予算の総額を914万円とする	可決
令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) ・主に確定見込み等による一般会計繰入金増で、歳入歳出それぞれ51万円を増額し、予算の総額14億3,141万円とする	可決	令和6年度水道事業会計予算 ・予算の総額を3億195万円とする	可決
令和5年度下水道事業特別会計補正予算(第3号) ・主に使用料の見込みによる減で、歳入歳出それぞれ2220万円を減額し、予算の総額4億1756万円とする	可決	令和6年度下水道事業会計予算 ・予算の総額を6億2798万円とする	可決
令和5年度町設置型浄化槽事業特別会計補正予算(第2号) ・主に浄化槽設置事業の減で、歳入歳出それぞれ1945万円を減額し、予算の総額を2598万円とする	可決	町道路線の認定(町道277号 水上5号線) ・新規路線開設に伴い、町道の認定をするもの	可決
令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号) ・主に確定見込み等による地域支援事業費の減で、歳入歳出それぞれ139万円を減額し、予算の総額を13億1366万円とする	可決	指定管理者(非公募施設)の指定 ・町立畑集会所及び町立ひだまりの里の指定管理者を指定するもの 畑集会所「畑自治会」ひだまりの里「ひだまりの里運営協会」	可決
令和6年度一般会計予算 ・予算の総額を54億9400万円とする	可決 (賛成多数)	監査委員の選任 ・監査委員の任期満了に伴い、選任するもの 佐野勝俊 氏	同意
令和6年度国民健康保険事業特別会計予算 ・予算の総額を14億172万円とする	可決	固定資産評価審査委員会委員の選任 ・固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、選任するもの 武尾昌則 氏	同意
令和6年度後期高齢者医療特別会計予算 ・予算の総額を2億3653万円とする	可決	農業委員会委員の任命 ・農業委員会委員等候補者選考委員会の答申に基づき、任命するもの 田淵康男 氏、磯崎加代子 氏、瀬戸由紀子 氏、瀬戸雅弘 氏、細谷晋之 氏、室伏正裕 氏	同意
令和6年度町設置型浄化槽事業特別会計予算 ・予算の総額を1535万円とする	可決 (賛成多数)	議案第28号 令和6年度一般会計予算に対する附帯決議 ・令和6年度一般会計予算に計上されている体育施設整備事業の執行にあたり適切な対応を求めるため、提案するもの	可決 (賛成多数)
令和6年度山北財産区特別会計予算 ・予算の総額を231万円とする	可決	選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 ・選挙管理委員会委員及び同補充員の任期満了に伴い、選挙するもの 委員 武昭好 氏、関隆 氏、野地 文男 氏、猪狩 利夫 氏、補充員 石井 誠一 氏、尾崎 治 氏、山崎 享 氏、杉本 紀仁 氏	指名 推選
令和6年度共和財産区特別会計予算 ・予算の総額を3100万円とする	可決	松田町外三ヶ町組合議会議員の選挙 ・松田町外三ヶ町組合の議会議員の任期満了に伴い、選挙するもの 高橋 伸生 氏、高杉 茂 氏、奥津 高由 氏、高橋 友雄 氏	指名 推選
令和6年度三保財産区特別会計予算 ・予算の総額を575万円とする	可決	令和6年度土地開発公社事業計画及び予算 ・山北町土地開発公社理事会において承認された事業計画及び予算の報告	報告 のみ

☆賛成・反対があった議案(第1回定例会) ※○は賛成、●は反対を表しています。石田照子議長は、採決に加わりません。

議案件名	和 田 成 功	池 谷 仁 宏	瀬 戸 伸 二	高 橋 純 子	瀬 戸 恵 津 子	大 野 徹 也	富 田 陽 子	府 川 輝 夫	熊 澤 友 子	遠 藤 和 秀	児 玉 洋 一
町設置型浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	●	●	○	欠	●	○	○	●
令和6年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○
令和6年度町設置型浄化槽事業特別会計予算	○	○	○	●	●	○	欠	●	○	○	●
議案第28号 令和6年度一般会計予算に対する附帯決議	○	○	○	●	○	○	欠	●	○	○	○

神奈川県の水源地
★ いつまでも
安全・安心でおいしい水の供給を



町設置型浄化槽
特別会計予算案

反対・賛成
討論

反対

「水源環境保全に対する
本来の目的を」

児玉洋一



そもそも町設置型浄化槽事業は、「丹沢湖の水質保全」を目的に神奈川県が平成20年から始めた事業で、丹沢湖より上流に在住する住民や事業者等に対し、これまでの合併浄化槽から高度処理型の合併処理浄化槽に変更、新規設置を促すために始めたものである。

新規設置に関わる工事費の一部負担及び以降の維持管理費は、国・県・町の負担で行うという説明のもと、これまで何となく生活してきた地域住民は「丹沢湖が綺麗になるなら協力しよう」という思いから、敷設工事費数十万円の自己負担や、自らの土地を掘り起こし、これまでより大きな高度処理型の合併処理浄化槽への変更・新規設置に協力してきた。

しかし令和4年度より、今後本事業における補助は行わない。町も新規設置の補助はせず個人払い下げもあり得る、旨の説明を受け、地元住民は当初の目的と違うと困惑してきた背景がある。令和5年9月の一般質問や先日の委員会質疑でもこの件に触れ、「SDGsの観点からも水質保全にゴールはない」「県から水質改善のエビデンスが何も示されていない」「町は補助事業の継続を国県にもっと強く訴え続けるべきである」等の意見を述べてきた。

今後、国・県からの補助がなく本事業を継続していくことは、町の財政状況を考えると極めて厳しく、また本事業に協力した者への個人払い下げや維持管理費の自己負担増などの理解は到底得られるものでもない。

以上のことから、これまで通り補助事業は継続し、国・県・町が持続可能な水源環境保全に努め、本事業の継続が必要であると考え、原案に反対する。

賛成

「新規設置より
維持管理」

瀬戸伸二



「討論とは」
・議案に対し、採決前に賛成か反対か自己の意見を表明すること。

1. 現在、丹沢湖より上流域に在住する地域の80%以上が、高度処理型合併処理浄化槽を設置済みであり、近年は新規設置者の申請がほぼない。
2. 申請がいつ来るかわからない状況で、職員が新規設置を促す業務より、維持管理業務に努める方が先決である。
3. 通常の合併浄化槽の補助は町で継続する。その機能を見ても丹沢湖の水質を汚染するとは考えにくい。
4. 設置助成に関する予算は一般会計で確保されている。本予算が否決されれば、動き続けている浄化槽の維持管理に支障が出かねない。

以上、過去の経緯や地域住民の感情を思うと、本事業継続の必要性は理解できる。

しかし、一度事業全体を見直し、限られた予算を効果的に使用しながら、新たな補助メニューを検討し、持続可能な森林環境保全、水源環境保全に努める必要があると考え、原案に賛成する。

反対 4 票
賛成 6 票
賛否結果は P9 へ

議員発議

STOP! 山北町議会初 附帯決議案



令和6年度山北町一般会計予算に対する附帯決議について（議員発議第1号）
（提案理由）

令和6年度山北町一般会計予算に計上されている体育施設整備事業の執行にあたり適切な対応を求めるためのもの

◎ 体育施設建築に

留意すべき3つの条件

「附帯決議とは」

・可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるもの。

「第6次総合計画との整合性と事業執行は慎重に」

1. 町は、体育施設整備事業を優先することにとらわれないことなく、当該施設の整備計画と山北町第6次総合計画との整合性を図るとともに、今後の社会情勢変化や更なる物価高騰などで予算内の事業執行が困難である場合は、事業の次年度以降への見送りなども視野に慎重かつ適正に執行すること。



「町の活性化、地域振興、林業振興へつなげて」

2. 町は、体育施設整備事業にあたり、町民への十分な説明と理解を得るとともに、財源等について明確にし、町の活性化や地域振興、林業振興にもつながるよう留意すること。



「しっかりと議会に説明を」

3. 町は、この決議を最大限尊重するとともに、今後の事業の進捗状況等については遅滞なく具体的に議会に対し説明すること。



ちょっと

待って!!



反対 8 票
賛成 2 票
賛否結果は P9 へ

問 公共施設の長寿命化に向けて

答 計画に基づいた施設整備を進めていく

Q 各園、小学校、中学校の施設維持管理等への取り組みは。

答 多くの園舎、校舎が築40年以上経過しているが、計画的な維持管理に努めることで、更新時期の集中化を避け、財政支出の平準化を図る。
令和3年3月に「山北町学校施設長寿命化計画」を策定した。
令和5年度に川村小学



1番 和田 成功 議員

校施設長寿命化改修工事検討委員会を開催し、令和7年度にB棟、令和8年度にA棟長寿命化改修工事を実施したい。
また、山北中学校の長寿命化改修工事や、向原保育園の移転を含めた建替え並びに各園舎の改修等の検討を考えている。

答 体育館の改修工事を行うにあたっては、十分踏まえた上で検討していきたい。
併せて、子どもたちの学校教育の部分も担えるようなものとして考えていく。

Q 学校体育館は避難所の機能も備える改修が必要と考えるが。



動画はこちら



改修予定の川村小学校

問 「こどもまんなか社会」を実現するために

答 実効性のある計画づくりに取り組む

Q 子育て支援と福祉の推進において課題とニーズをどのように生かすのか。

答 「第2期子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度で最終年度となるため、第3期計画策定に向けたアンケートを実施する。
そこで得られた子育て世代のニーズや課題を次期計画に反映させていく。



4番 高橋 純子 議員

Q 短時間働きたい保護者のための預け先や一時保育などの課題と対策は。

答 ファミリーサポートやまきたのほか、やまきたこども園など園児時以外の一時預かり保育も行ってはいる。園の体制づくりと環境づくりが重要と考えている。

Q これからの保育所のあり方と今後の展望は。

答 時代とともに変化する保育ニーズに柔軟に対応し、3園共通のめざすこども像の実現に向けて保育の充実を図っていく。

Q 子どもの権利条例を制定しては。

答 条例制定は考えていないが、「こども基本法」の基本理念を踏まえ、子どもの権利侵害や児童虐待防止等に関して、一歩踏み込んだ施策を検討していく。



動画はこちら



※「子どもの権利条例」は4つの基本原則を踏まえた条例で現在64自治体が制定しています。



新たな玄関口となるオアシス公園

問 新東名高速道路開通後の町のビジョンは

答 町の魅力を情報発信する



3番 瀬戸 伸二 議員

Q (仮称) 山北スマートIC周辺の「道の駅山北」「オアシス公園」などの今後のあり方は。

答 道の駅山北は、スマートICを降りてすぐの観光施設となるため、県と連携し、魅力ある施設となるよう充実させていく。また、オアシス公園は、駐車場や眺望スポット、芝生の広場、親水スペース等の整備について河川法の制限もあるが、引き続き県と協議をし、検討を進めていく。

Q 工事業業者撤退後の跡地の利用計画は。

答 旧清水小・中学校や保育園は、スマートIC土地利用構想に示された事業展開イメージの実現に向け検討を進めていく。ハイツ&ヴィラなかかわ跡地は、観光・交流拠点として整備し、水土地区は計画的な住宅整備を進める。丸山地区は、住宅需要は高いと思われるので、企業誘致に限定せず検討していく。



動画はこちら

問 能登半島地震による被災を教訓として防災・減災対策を

答 更なる防災・減災対策の強化を図る



6番 大野 徹也 議員

Q 避難者の正確な把握と、災害弱者の個別避難計画による避難訓練実施の考えは。

答 避難所アプリ(※)での入退所管理システムや、より正確で迅速な手法を検討する。今後も避難所の一部を福祉エリアとした運営訓練を継続し、避難時に補助が必要な避難行動要支援者名簿の見直しと、補助者との連携を密にする。

Q 家屋倒壊防止対策の耐震改修促進計画の進捗状況は。

答 目標達成に向けて耐震診断・耐震改修の補助制度周知や広報などを活用し、意識啓発を図る。

Q 管路や水道設備の耐震化の取組みは。

答 施設の更新に合わせて災害時の維持機能の強化を図る。



動画はこちら

答 消防本部・消防団や自衛隊への出動要請など、人命救助を最優先とし、備蓄や防災行政無線の配備などで体制を整備している。自主防災力向上に向けた訓練や、防災意識の啓発に取り組む。

Q 道路の寸断で孤立化する地域の防災・減災対策は。

※避難所アプリとは
スマートフォンやマイ
ナンバーカードを活用
し、避難所の運営管理
などを行うもの

問 過去の一般質問への対応は

答 周辺活性化も含め、次世代の人材育成に注力する

Q 山北駅トイレの改修をJR東海へ要望すると答弁されたが、その後の取り組みは。

答 JR東海からは、令和9年度に駅舎を小規模とし、トイレは設置しない方針と聞いている。町は小規模の駅舎には同調できず、駅舎の整備を担うことも考えており、トイレ整備も含めて検討していく。

Q 商店街の活性化に向け、リーダーの育成に取り組みと答弁されたが、その後の取り組みは。

答 商工会メンバー・新規出店された方・移住者等の方を交えて定期的に会議を開催し次世代を担う人材の発掘と育成に注力していく。



5番 瀬戸 恵津子 議員



動画はこちら

Q フレイル予防の取り組みは、実技を多く取り入れ若い世代にも広げるべきでは。

答 まずは、フレイル予防の必要性を認識してもらうよう測定会を実施していく。若い方にも参加してもらえるよう工夫をしていく。



問 足柄上地区ごみ処理広域化をどう考えるか

答 最終的には議会における決議が必要と考える

Q 足柄上地区1市5町で構成するごみ処理広域化（可燃ごみ）の進捗状況は。

答 令和11年度中の新可燃ごみ処理施設完成をめざして進めている。また、あわせて不燃等の処理についても検討していく。

Q 搬入ルート安全性の確保として、県道74号線の南原地区と八幡神社付近の拡幅を、県に訴えるべきでは。

答 ルートについては、足柄上地区ごみ処理広域化協議会で協議し、県に要望をしていく。



8番 府川 輝夫 議員

Q 財政力と人口減少を踏まえ、広域化への意思表示を明確にすべきでは。

答 可燃ごみ以外の不燃・資源ごみの対応、西部清掃の終結の課題、建設費見込額が、資材等の高騰でかなり値上りすることも想定される。議会と納得するまで話し合い、令和6年度中に決めていきたい。

Q 広域化の決定や今後の方向性についての合意形成は。

答 重要な問題であり、足柄上地区ごみ処理広域化協議会で協議し、最終的に議会における議決により執行する。



動画はこちら

》 研修会レポート・おしゃべりCafe

議会議員研修会

令和6年1月19日(金) 14:00～16:00

会場：役場 401 会議室

「長寿社会の地域公共交通

～車に替わる移動手段を考える～」

講師：金沢大学 名誉教授 西村 茂氏



「新しい交通手段を考える」

町の抱える大きな課題の一つである「地域公共交通」について研修しました。オンデマンド交通、相乗り、キックボード・自転車等を活用した近距離の移動手段と大きく3つの節に分けてお話いただき、各移動手段の違い、問題点、海外を含め取り組んでいる自治体の事例を交え学びました。

多くの自治体で抱える問題は定時定路線の交通手段の不便さ、交通空白地におけるマイカー依存に対する代替策が必要という点です。それらの問題解決の共通点として、シェアサービスの発展、配車アプリや決済アプリのデジタル技術の活用という点があると学びました。

自治体の移動政策は、従来からの公共交通だけではなく、今後はこれら新しい手段にも目をむけて行くべきだと感じました。

(記) 池谷 仁宏

「議会と住民参加の大切さ」

上郡5町の議会議員研修会に参加しました。

地方分権と自治体議会を取り巻く環境の変化について、

- ・ Volatility = 変動性
- ・ Uncertainty = 不確実性
- ・ Complexity = 複雑性
- ・ Ambiguity = 曖昧性

の頭文字をとり VUCA (ブーカ) の時代と話しておりました。例をあげると頻繁に起こる激甚災害、コロナウイルスの世界的感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻等です。

町村だからできる事例をいくつか紹介しながら町村は政策のトップランナーと話しており、さらに議会活動活性化を通じて、あらためて住民との関係をどう構築し、どう政策能力を高めるか。しっかり取り組んで行かなければならないと感じました。

(記) 池谷 仁宏

足柄上郡議会議員研修会

令和6年2月7日(水) 14:30～16:30

会場：県西総合センター 5階 会議室

「自治体議会の役割と課題

～町村議会の活性化と住民参加～」

講師：明治大学政治経済学部

教授 牛山 久仁彦氏



No216 議会のおと

広報モニターアンケート



12名の議会広報モニターの皆さまから前号に関するアンケートに回答していただきました。

モニターの方の多様な声でつくる議会だよりをめざしています。

すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。



～定例会の審議～

- 中学生の要望から、町がアンケート実施、実現にこぎつけたスケートパーク建設等素晴らしいことですね。
- 予算の使い道がわかってよい。

～山高生の声～

- 高校生の意見がしっかりしていてとてもいい。
- 山北町の不便さを嘆くのではなく逆転の発想が今後の山北町に必要。
- 若い方の意見、考えていることを大事にしてそれに答えを出していく場を設けて。

～県外視察報告～

- 更に外部に目を向け視察を行い、問題解決の糸口を掴んでほしい。
- ドローンの活用はぜひ進めてほしい。
- 具現化するための予算等の可能性について言及してほしい。
- 視察のために現地に赴いているのでその成果を実らせてほしい。



～その他ご意見～

- 町長の公式LINEアカウントを作ってはどうか。
- ぶなの湯の年間パスポートを作ってほしい。
- 広報モニターを続けてきてだいぶ変わったと感じる。
- アンケート項目は「紙面の見た目」を問う形は改善するとよい。



←これがQRコード
 スマホのカメラで読み取ると紙面等を見ることができます。
 ※全集計結果はホームページに掲載しています。



『議会のおとのご意見番』

広報モニター

の皆さまと意見交換をさせていただきました

ました。公平な視点でご感想やご助言など、いただいたたくさんのご意見を今後更なる充実した紙面づくりに役立ててまいります。貴重なご意見ありがとうございました。



モニターの意見を取り入れても
らっていて中身も素晴らしいも
のができ上がっていると思う。

議会だよりをもっと見てもらえる
ようにするにはどうしたらよい
かと、自分でも考えるようになった。

QRコードやSNSの使い方をお
しゃべりCafeなどで教えて
もらえるとうれしい。

町民全員に届ける内容は難しい。
ターゲットを絞り、小中学生向け
のページもあってもよいかも。
わかりやすい言葉や漫画などを載せて
も面白いのでは。

山北出身の有名人とのコラボ企画
で町民を惹きつける紙面づくり
はどうか。

今日の意見交換会は良かった。モ
ニター同士で顔の見える関係を
もっと作ってほしい。



議会広報モニター新メンバー

- | | |
|---------|---------|
| 佐藤 唯さん | 栗田恵美子さん |
| 山崎 美沙さん | 小田 勝美さん |
| 吉田 知世さん | 武内 匡樹さん |
| 藪田 悦子さん | 瀬戸 礼さん |
| 田代 瑞恵さん | 富樫 元気さん |
| 堀口 直之さん | |

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

第3期議会広報モニターが始まりました

第3期議会広報モニター11名が決定しました。

モニターには4月から2年間、議会だよりに関するアンケート調査等に協力していただきます。

いただいたご意見を今後の編集、広報活動へと反映させ、読みやすい「議会のおと」をめざしていきたいと思えます。

2/20 三保地区旧山本邸

- ◆周遊観光できる道路整備を進めてほしい。
- ◆中川～箒沢地区の県道整備5か所のうち、まだ1か所しか整備されていない。県に働きかけているのか。
- ◆トップシーズンの渋滞は住民にとっては大迷惑。
- ◆三保地域では職業の選択が少ない。
- ◆もっと若い人が活躍できる環境づくりを。
- ◆三保に住んでいて、子育て世代にやさしいまち…とは何なのかまるで分からない。
- ◆子どもが園に通うのにタクシーではなく、園バス（スクールバス）を整備して主要箇所を回って送迎してほしい。
- ◆丹沢湖のイベントが多く、結局地元の人がボランティアに頼まれることが多い。人も少なく、高齢者も増えた。もっと山北町全体で観光立町として取り組むべき。



小さな友達も遊びに来てくれたよ

おしゃべり Cafe は
次回 清水地区
で開催します。

日時：4月20日（土）13：30～15：30
場所：道の駅「山北」（湯触 317）

各種団体、グループとの出張おしゃべり Cafe も始めています。ご要望があれば、どこへでも伺います。ご希望の方は、議会事務局（☎ 75-3653）まで。

やまきた町議会 おしゃべり Cafe

議会では、皆様との意見交換の場を増やすことを目的に、おしゃべり Cafe を開催しています。

今回は2/20に三保地区旧山本邸で行った内容を掲載しています。



こんなご意見もありました。

- ◆おしゃべり Cafe を午後開催だけではなく、午前中に開催するとお母さんたちは出やすいのでは。
- ◆子育て支援センターや幼稚園で出待ちするとかすれば、子育て世代の声も拾いやすいのではないかと。
- ◆起業誘致を積極的に。受け皿をしっかりと作るべき。

※当日の様子など記載したおしゃべり Cafe 通信はホームページでご覧いただけます。➡



「おしゃべりCafe」の声を町長に



令和5年度は町内4か所にて「おしゃべりCafe」を開催し、多くの町民の皆さまから貴重なご意見を伺うことができました。こうした声を広報広聴委員会として集約し、令和6年3月28日に正副議長から町長へ提言を行いました。

今後も、行政と議会はそれぞれの立場で町民対話を重ね、町政発展のために共に歩みを進めていく必要があると考えています。

令和5年度おしゃべりCafe 利用実績

- ◆ 令和5年 8月20日（日）駅前 Cafe「NICO」横
- ◆ 令和5年10月20日（金）小田原百貨店前
- ◆ 令和5年12月20日（水）平山集会所
- ◆ 令和6年 2月20日（火）旧山本十九三邸（三保）



「全国町村議会広報コンクール」悲願の入賞



受賞した214号

議会広報紙を作り続け、本号で217号となります。議会活動をわかりやすく情報発信していくために、令和2年からは町民の代表として「広報モニター」の方たちのご意見も取り入れながら、紙面作りに取り組んでまいりました。

この度、全国町村議会が主催する「第38回町村議会広報コンクール」において、全国300町村議会の応募の中から山北町議会広報紙「議会のおと」が奨励賞を受賞することができました。

今後も、広報モニターの皆さんと共に、手に取ってもらいやすい紙面作りに取り組んでまいります。

広報紙作成に携わり苦節9年…。毎年コンクールの上位入賞をめざして取り組んできました。今後も更なる高みをめざし、精進してまいります！



児玉 広報広聴委員長

全国広報コンクール 結果はこちら



活きいきひろば

継承を大切に山北で楽しく暮らす

三保地区在住 石田 いしだ 勝也 かつや さん



丹沢湖のほとり、創業百年続く旅館を家族で営んでおります。お昼にはおそば屋もやっておりますので、興味のある方はお越しください。水曜日が定休日です。

三保地域の人の温かさや、家族の協力、豊かな自然の中で6人の子どもに恵まれ、騒がしい毎日を楽しく過ごしています。

丹沢湖ができる前の三保の世附地区には、百万遍念仏という約七百年前から続いているといわれるお祭りがありました。打ち上げを当旅館でしていたそうで、当時を知る人から話を聞くと、たいそう楽しいひと時だったんだろうなと想像できます。今でも場所を向原に変えて続いているこのお祭りですが、悪魔払いの途中で昼食に使っていただいています。

現在も当旅館がこの場所にあつて、百万遍念仏に使っていただいているという事が、当旅館の重要な役割の一つだと思っています。

この地で伝統を継承することは大変ですが、大事なことだと思つてやりがいを感じています。

表紙 テーマ

議会をより身近に感じてもらえるように、アフターコロナを生き抜く町内事業者や様々な活動をされている方の家族写真を表紙のテーマとしています。



議会の傍聴においでください

第2回定例会(予定)

6月10日(月)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ **75-3653**

議会事務局

町議会

YouTube チャンネル

一般質問などの動画を配信していますので、チャンネル登録をお願いします



児玉 洋一
池谷 仁宏
和田 成功
高橋 純子
富田 陽子

編集メンバー

編集委員の つぶやき

暖かい春の訪れとともに丸山の丘に、大きなランドセルと大きな夢を背負ったピカピカの1年生、つつじが丘で制服に身を包み少し緊張している1年生、それぞれが新しい学校生活に希望と不安を感じながらも友達と笑顔でおしゃべりする姿がありました。

これからの学校生活でたくさんのお話を吸収し、さらに大きく成長していただけることでしょう。

今後、次代を担う子どもたちに負けないう、皆さんの声をしっかり吸収し負託に応え成長していく議会となるよう努めてまいります。

(記) 和田 成功

